

# 平泉中学校改築

## 愛着のもてる中学校へ

### 中学生ワークショッププスタート

現在改築が進められている平泉中学校校舎。その完成後の利用の在り方を検討するワークショップが10月5日、同中学校で開催されました。

今回、ワークショップを実施するのは、新しい校舎が完成した際に3年生となる現在1年生の68人。

23年7月まで全4回のワークショップを開催し、愛着をもって中学校を考えていきます。

#### 特命調査員に任命

このワークショップは、デザインや仕上げの過程に参加することで、「自分たちの学校」としての誇りや愛着を形成する目的のほか、工事により学校生活の一部が制限されているマイナスの体験を、改築にかかわり自分たちの学校を作り上げていくと



写真は長島小学校「なかよしホール」。長島小では、児童集会や低学年の読書などさまざまな活動でこのホールが使われています。平泉中学校のホールはどんな形になるのでしょうか？

いうプラスの体験に変えていき  
工事期間中のストレスを軽減する効果も期待されます。  
ワークショップに先立ち「学校改築プロジェクト特命調査員の任命交付式が行われ、生徒を代表して1年A組の菅野裕康さんに任命書が手渡されました。特命調査員としての役割は、新校舎に計画されている「交流ホール」の使い方を考えることと、考えたアイデアについて先輩などから意見を集めることなど5つの役割が課せられています。

#### 学校の「顔」を考える

このワークショップでは、香港大学の田代久美さんをはじめ、3人の専門家の指導と東北大学の協力を受けながら交流ホールのレイアウトデザインを中心に考えていきます。  
1回目の5日は、体育館内に



いろいろな物の長さを測り、寸法と空間について理解を深める生徒たち

在、1階と2階のコンクリート構造体の工事が完了しています。南棟の1階部分には、図書室や会議室、パソコン教室、2階には普通教室や理科室などが整備されます。今後は、今月中に屋根部分や外装工事が行われる予定。来月からは、内装工事などに取りかかり、順調にいけば来年1月中旬に南棟の工事が完了し、2月から新校舎の一部で

の授業がスタートします。  
2期工事の北棟校舎の工事は、来年4月に着工される予定で1階部分には、交流ホールと図書館を隣接したオープンスペース、2階には、音楽室や美術室などが整備されます。2期工事は24年3月に完了する予定で、4月から真新しい校舎での授業が開始されます。  
既存の校舎は、南棟校舎の使

用がスタートする来年2月から既存校舎東側の解体工事が始まり、2期工事が進む24年3月までにはその役目を終え、35年間親しまれてきた校舎は姿を消します。



教育長から任命書を受け取る菅野さん

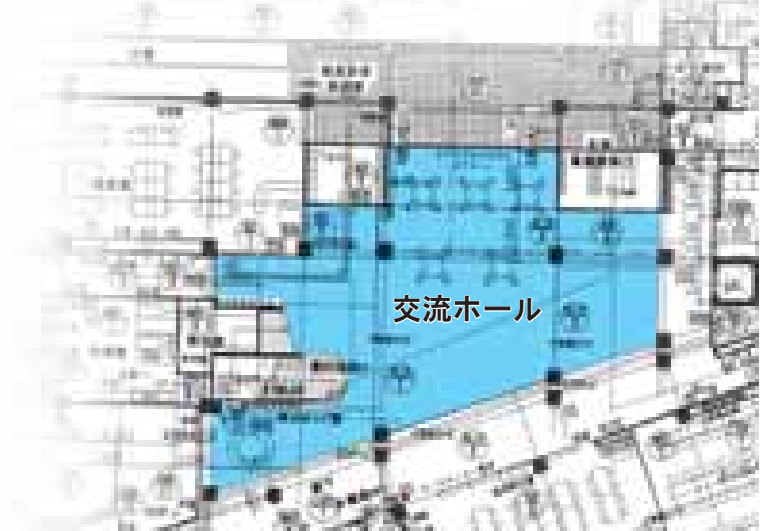
として、他の学年の生徒や先生、地域の人たちと交流することが出来る大切な場所となります。  
任命書を受け取った菅野さんは、「とても楽しくワークショップの授業を受けることが出来た。自分たちの学校なので、みんなで協力して明るく楽しいスペースを作っていきたい」と今回のワークショップに希望を抱いていました。

#### 現在の改築状況

校舎の改築工事は、1期工事の南棟校舎の改築が進められており、既存の校舎の南側に隣接する形で建設されています。現



現在、既存校舎南側に建設中の新校舎南棟。2階部分の工事が行われており、徐々に新しい校舎の姿が見え始めました。(10月22日撮影)



新校舎1階交流ホール付近の平面図

#### Interview

田代 久美 さん  
(香港大学研究員)



今回の新校舎づくりに、生徒自身が関われることはとても素晴らしい機会です。ヨーロッパでは、学校の改築を機会に子どもたちの成績が伸びたり、町が活性化している報告がいくつもあります。

教育を通してまちづくりを進めるということも素晴らしい取り組みであり、これから生徒の皆さんからどんな案が出てくるのかとても楽しみです。『世界遺産の町の唯一の中学校』にふさわしい、みんなに大事にされるすてきな校舎が出来ることが楽しみにしています。